

かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタンのストールクリップ



技法考案・デザイン／工房ハーモニー
 <出来上がりサイズ>全長約15cm

<使用道具>

57-711 かぎ針付タティングシャトル
 〈No.12 (0.60mm)〉
<https://clover.co.jp/products/57711>



36-666 カットワークはさみ115(11.5cm)

57-007 フランス刺しゅう針No.7

57-862 糸始末リキッド

<材料>

リングパーツ 直径19mm 3個
 直径12mm 2個

25番刺しゅう糸 約2.3m (3本取り) 3セット
 ※色はお好みでご用意ください。

クリップパーツ(ドレスクリップ) 約11×27mm 2個



一カ所に穴が空いている
 タイプを使用しています

<作り方>

「糸ボタン基本の作り方」の動画も参考にしてください。

<https://clover.co.jp/movie/tattingbutton>



①別紙の「かぎ針付タティングシャトルで作る糸ボタン<基本の作り方>」の通りに、19mmの糸ボタンを3個作ります。

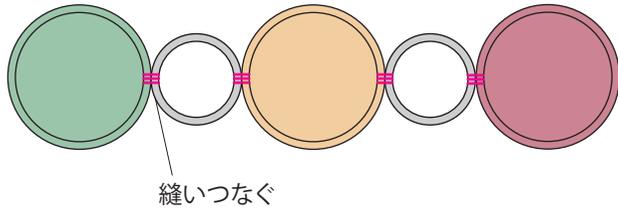
糸は25番刺しゅう糸を3本取りで使います。見本作品は、異なる色を引き揃えて使っています。

糸端を約15cm残して作り始め、最後の結び目が最初の結び目の反対側に来るようにして、糸端を約15cm残してカットします。



最後はこのように左右から糸端が出ている状態にする

②糸ボタンと12mmのリングパーツをつなぎます。糸ボタンの糸端をフランス刺しゅう針No.7に通して、糸ボタンとリングを縫いつなぎます。最後は目立たない場所で玉どめし、糸始末リキッドを付けます。

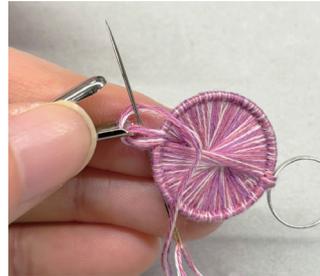


③両端にクリップを縫いとめます。

②と同じく、糸ボタンの糸端をフランス刺しゅう針No.7に通して使います。

クリップと糸ボタンの間に3~5mm程度糸が渡るように2回ほど通します。その後渡した糸にブランケットステッチをします。

最後は糸ボタンを数回縫って、目立たない場所で玉どめし、糸始末リキッドを付けます。もう片方の端にも同じようにクリップを縫い付けて完成です。



※画像は見本作品と色を変えています

糸ボタンとクリップに2回ほど糸を通し、クリップの穴から糸端が出ている状態にする

ブランケットステッチをしていく

【動画】

刺しゅうの基礎8 ブランケットステッチ
<https://clover.co.jp/movie/embkiso08>



マフラーやストール、ショールを留めることができます



クローバー株式会社

かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタンのストールクリップ 2-2